

2024年3月期
第3四半期決算説明資料

株式会社 コンフィデンス・インターワークス

証券コード：7374



INDEX

目次

- | | |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 01 | エグゼクティブサマリー _____ P. 3
Executive Summary |
| 02 | 当社の概要 _____ P. 6
Company Overview |
| 03 | 連結及びセグメント業績 _____ P. 11
Consolidated Financial Results and Segment Results |
| 04 | 株主還元 _____ P. 23
Dividend Distribution |
| 05 | 成長戦略の進捗／事業トピック _____ P. 25
Progress of Growth Strategies／Business Topics |

01

エグゼクティブ・サマリー

Executive Summary

2024年3月期 第3四半期 決算ハイライト

- 2023年8月1日の株式会社インターワークスとの合併により、当第3四半期累計期間は、**前年同期比で売上高、売上総利益とも大きく増加**
- 合併に伴うのれん償却費の影響が生じているものの、営業利益についても継続して増益。営業利益率も**16.7%**での着地

3Q 実績

売上高

5,377 百万円

前年同期比 **39.3%** 

売上高CAGR **26.9%**

売上総利益

2,422 百万円

前年同期比 **77.6%** 

売上総利益率 **45.1%**

営業利益

895 百万円

前年同期比 **20.7%** 

営業利益率 **16.7%**

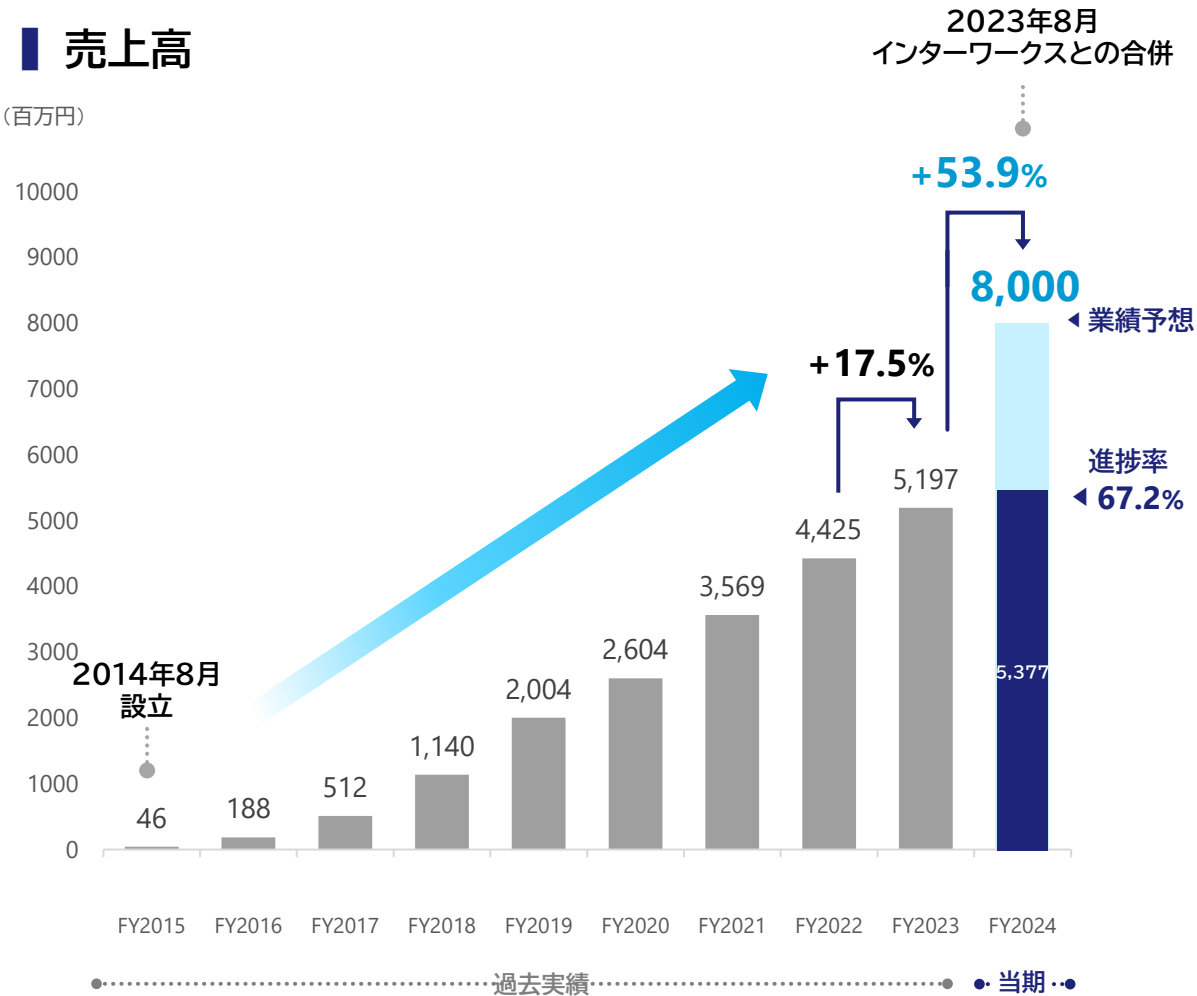
* 売上高CAGRは、19/3→23/3の実績値に基づき算出

売上高 | 営業利益の経年推移

- インターワークスの業績を5か月分(8月-12月)を取り込んだ点含め、**当第3四半期時点で昨年度の通期売上高を超えて進捗**
- 通期業績予想対比の進捗率は、**売上高 67.2%、営業利益 80.0%**、売上高は下半期偏重傾向も若干ビハインド、営業利益は予想を上回って進捗

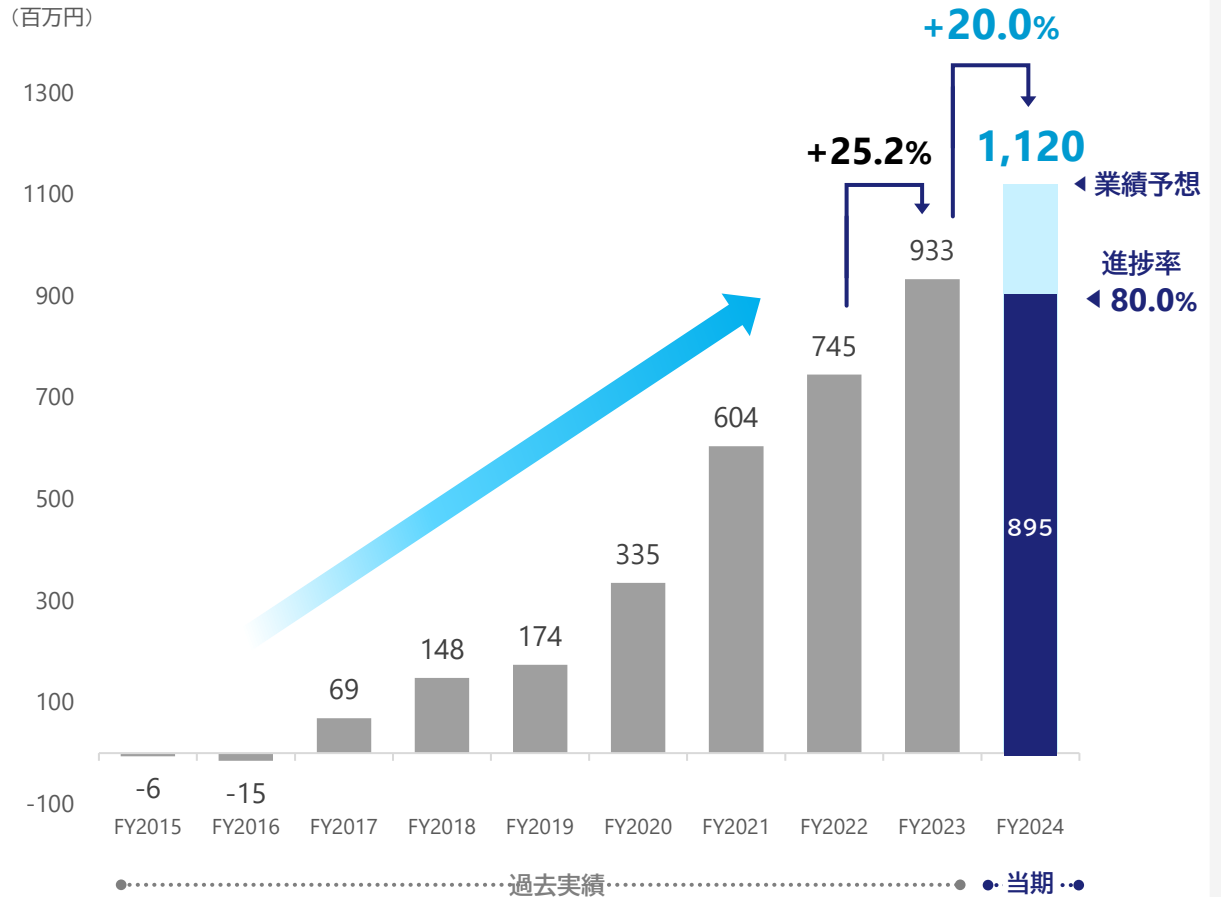
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



02

当社の概要

Company Overview



Vision

プロフェッショナルの力と 可能性を信じ、共に未来を創り出す

私たちは、多様性を増す社会で活躍する、
多くのプロフェッショナルの方々の
夢の実現をサポートするとともに、
その所属企業や業界、社会の成長・発展に貢献し、
可能性に満ちあふれる社会の実現を目指します



会社名 株式会社 コンフィデンス・インターワークス

代表者 代表取締役社長 澤岨 宣之

設立 2014年8月

本社 東京都新宿区新宿2丁目19番1号 ビッグス新宿ビル10階

地方拠点 名古屋 | 大阪 | 福岡

連結子会社 株式会社 Dolphin 株式会社 コンフィデンス・プロ

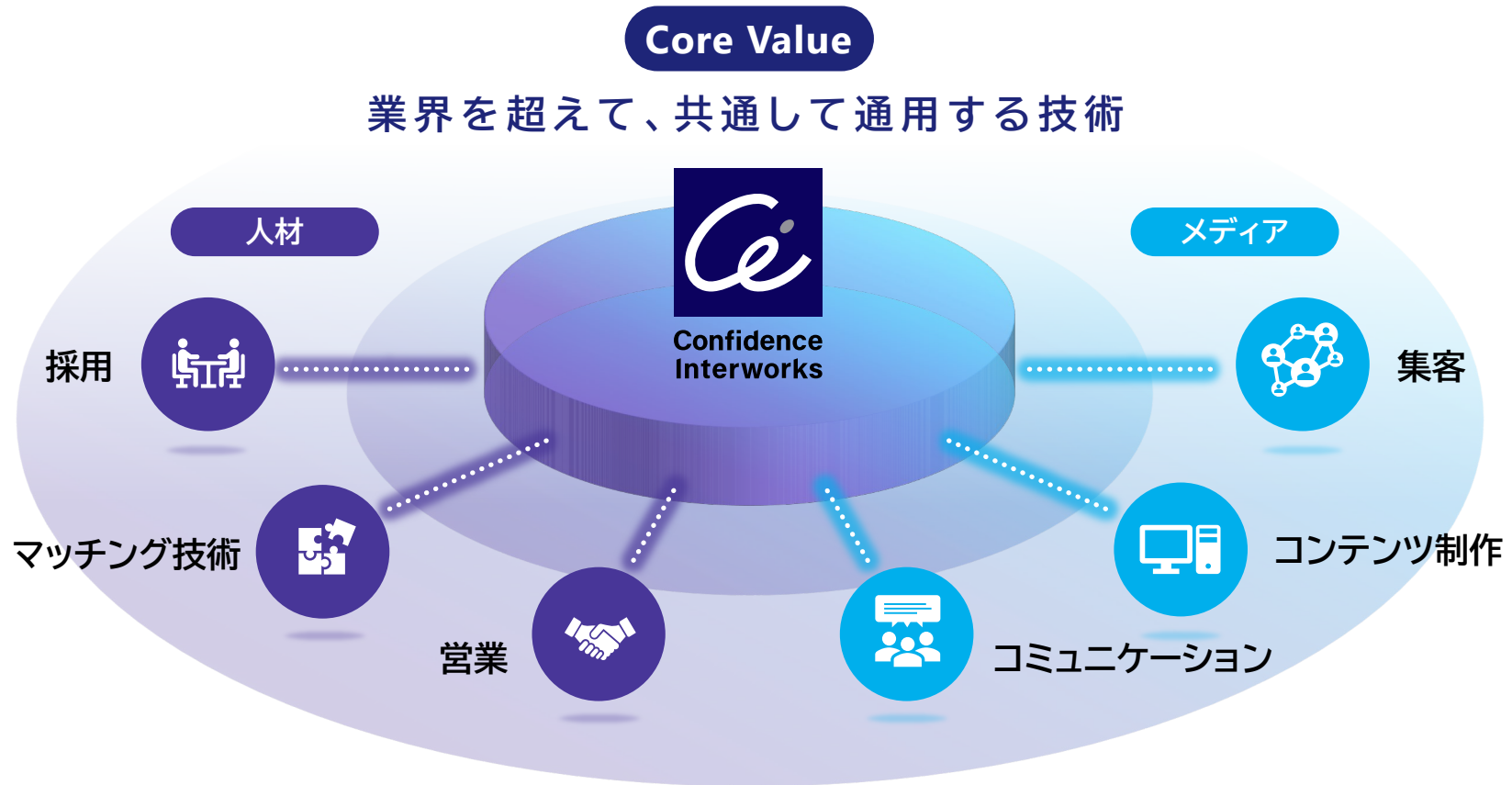
代表取締役社長	澤岨 宣之	専務取締役	吉川 拓朗
常務取締役	工藤 政嗣	取締役	永井 晃司
社外取締役	雨宮 玲於奈	社外取締役	水谷 翠
社外取締役	三木 寛文	社外取締役	早川 与規
常勤監査役(社外)	谷地 孝	監査役(社外)	安國 忠彦
監査役(社外)	藤森 健也	監査役(社外)	丸田 善崇

資本金 509百万円(2023年12月末時点)

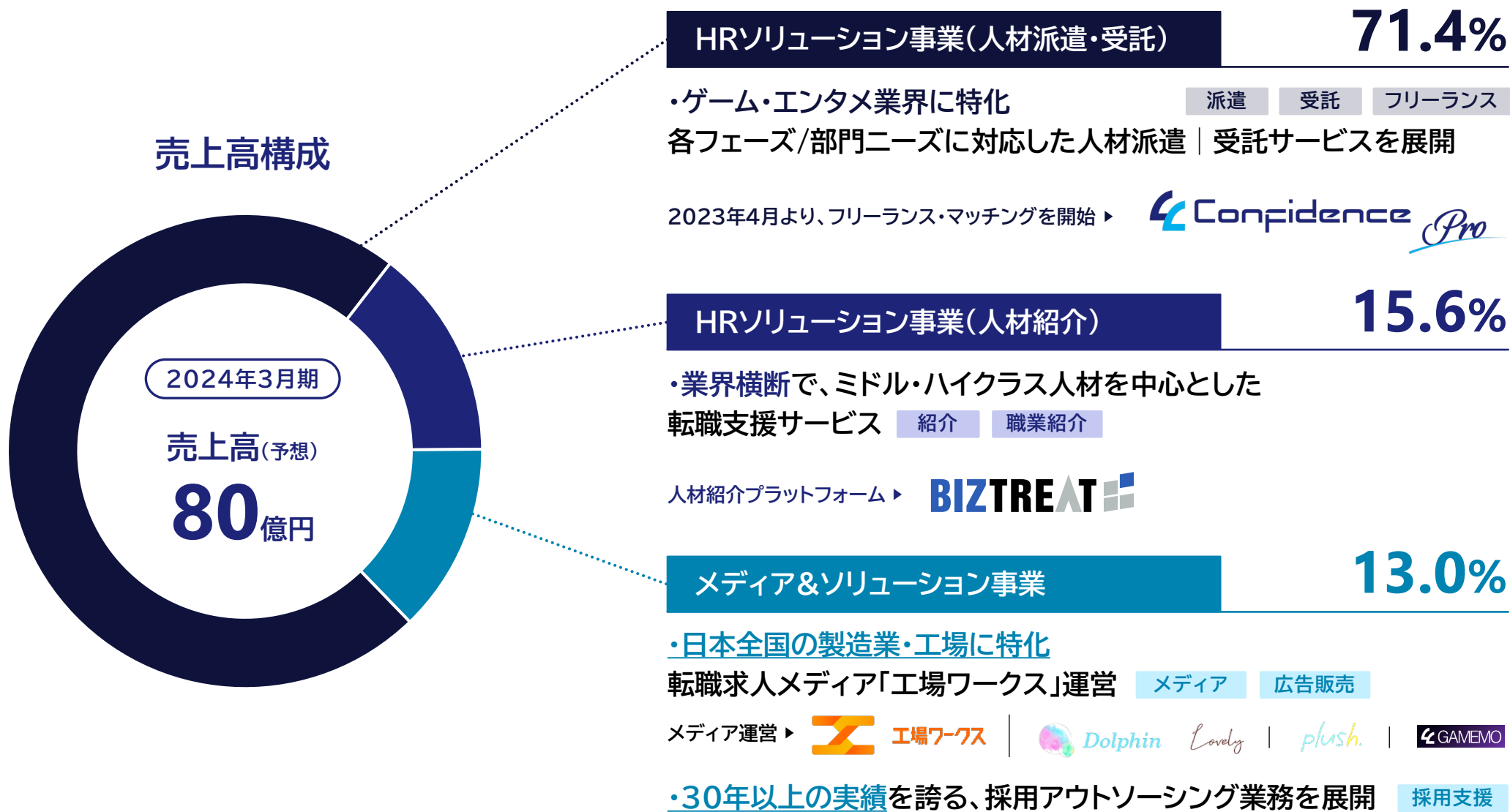
事業内容 HRソリューション事業(人材派遣・受託・人材紹介)、メディア&ソリューション事業

従業員数 1,188名(2023年12月末時点)【連結】

セグメント特化型のHRビジネス※を展開



※HRビジネス：Staffing(派遣)、Recruitment(人材紹介)、Outsourcing(受託)、Media(求人広告/メディア運営)の総称



事業概要 | 合併後のセグメント区分について

- 合併に伴い、下図の通りセグメント及びサービス区分の変更を実施し、2024年3月期第2四半期決算より新セグメント区分にて報告

合併前：各社セグメント区分



人材事業

派遣

受託

紹介

フリーランス

メディア事業

メディア

メディア&
ソリューション事業

広告販売

人材紹介事業

職業紹介

採用支援事業

採用支援



合併後：新セグメント区分



Confidence Interworks

1

HRソリューション事業
(人材派遣・受託)

派遣

受託

フリーランス

2

HRソリューション事業
(人材紹介)

紹介

職業紹介

3

メディア&ソリューション事業

メディア

広告販売

採用支援

03

連結及びセグメント業績

Consolidated Financial Results and Segment Results

[全社連結 | 3Q累計]2024年3月期 決算ハイライト

- 2023/8/1のインターワークスとの合併に伴い、売上高から各段階損益のベースが拡大した結果、前年同期比が大幅増加
- 通期業績予想の進捗率として、売上高は下半期偏重傾向も若干ビハインド、営業利益は[のれん償却費後においても順調に成長して着地](#)

3Q 実績

▼インターワークス分については、8月～12月分の5か月分を計上

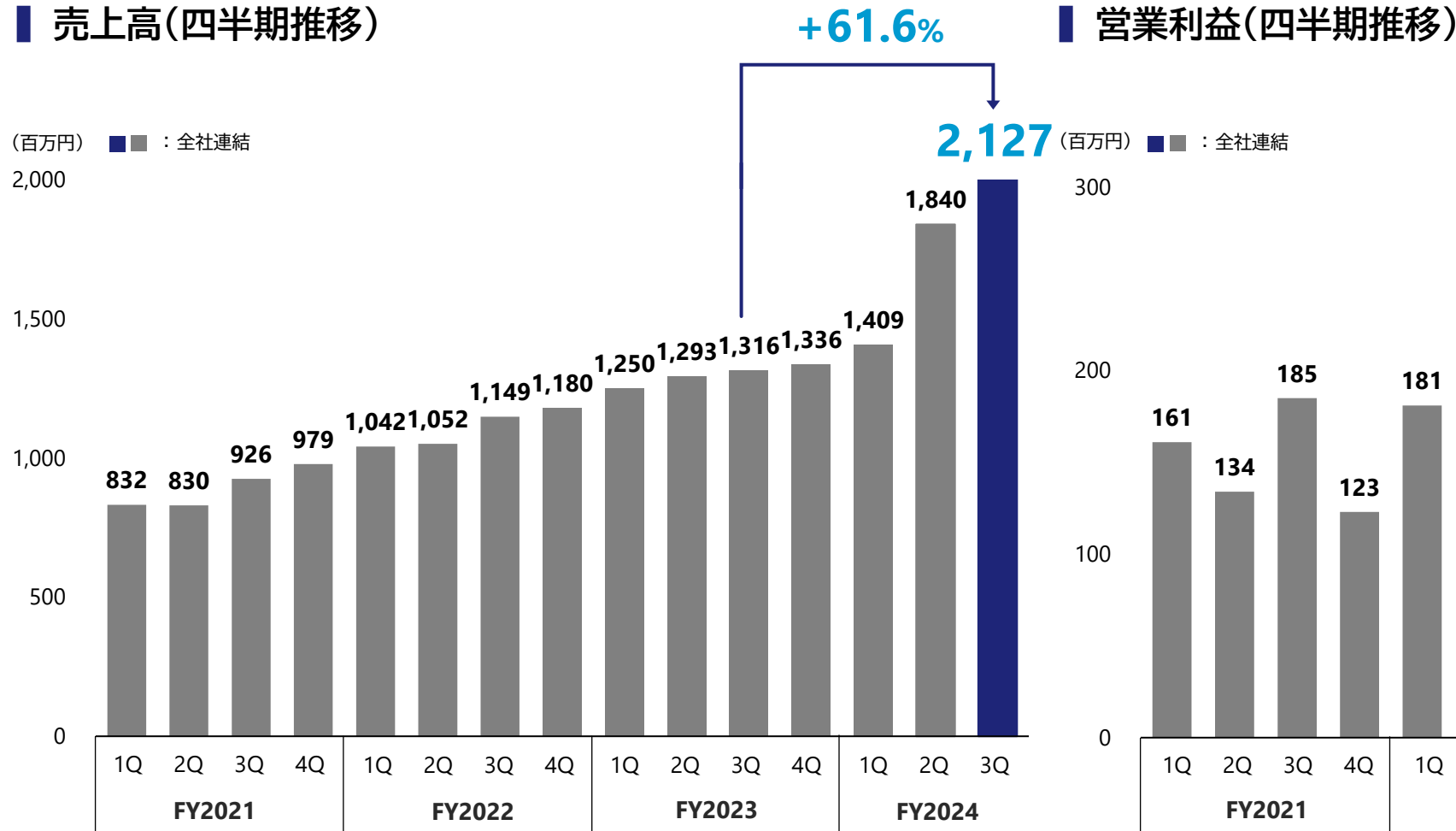
	2023年3月期 (3Q)	2024年3月期 (3Q)	前年同期比	業績予想 (2023/8/10公表)	進捗率
売上高	3,861	5,377	+39.3%	8,000	67.2%
売上総利益	1,364	2,422	+77.6%	3,718	65.2%
売上総利益率	35.3%	45.1%	+9.8pt	46.5%	-
営業利益	742	895	+20.7%	1,120	80.0%
営業利益率	19.2%	16.7%	▲2.5pt	14.0%	-
経常利益	741	843	+13.7%	1,065	79.2%
当期純利益	503	547	+8.7%	725	75.5%
(参考)EBITDA *	769	990	+28.7%	1,258	-
EBITDAマージン	19.9%	18.4%	▲1.5pt	15.7%	-

* EBITDA=営業利益+(減価償却費+のれん償却費) | EBITDAマージン=EBITDA÷売上高

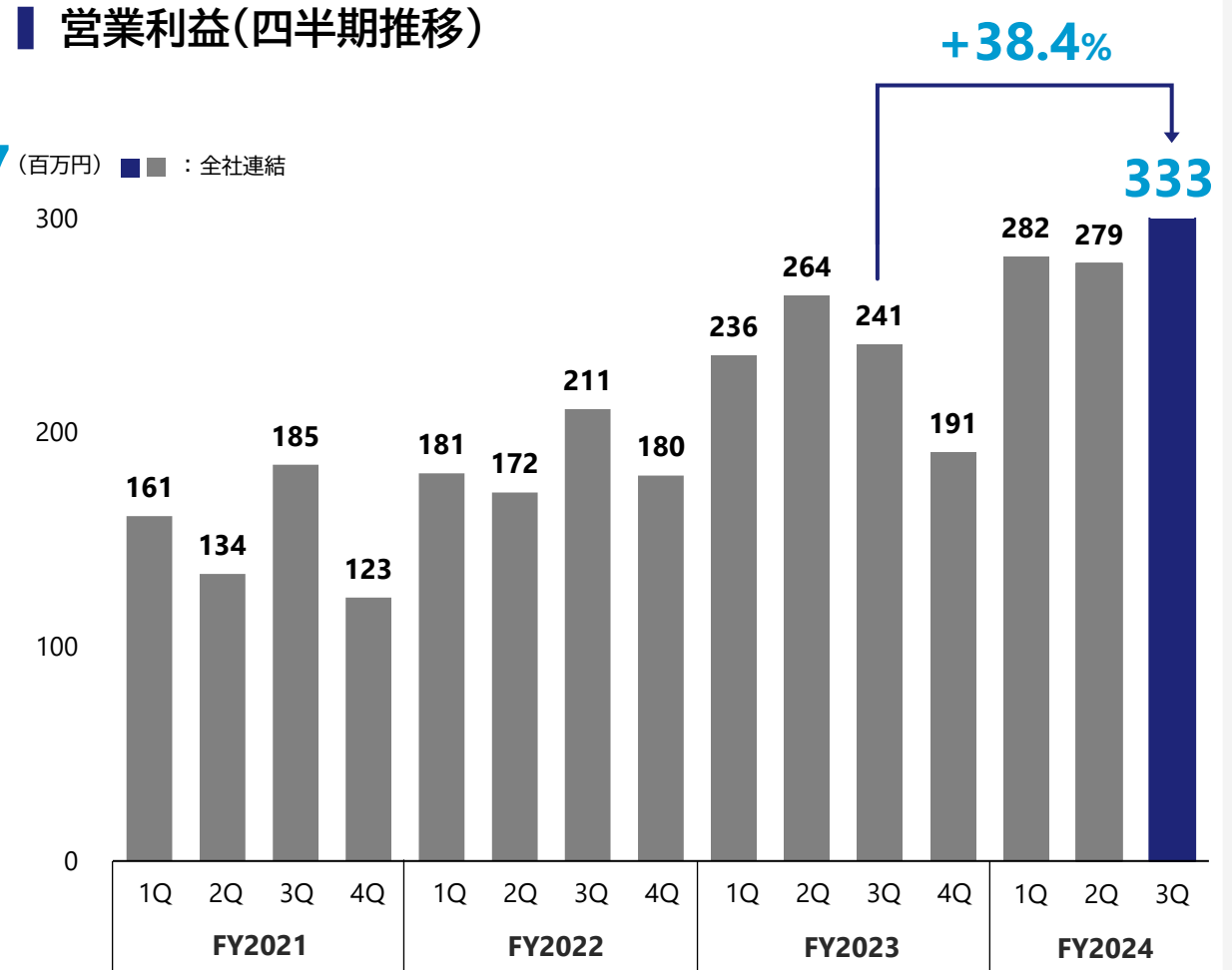
[全社連結 | 四半期]業績推移

- インターワークスとの合併により、当3Q売上高は大幅に増加。合併効果を除いた旧コンフィデンスにおいても、前年同期比**9.3%の増収**で着地
- 営業利益について、のれん償却費を加味した上で前年同期比 +38.4%、**過去最高益を更新**

■ 売上高(四半期推移)



■ 営業利益(四半期推移)



* 連結相殺消去後の数値を記載

[HRソリューション事業_派遣・受託 | 3Q] 2024年3月期 決算ハイライト

- 当セグメントは、旧コンフィデンスの人材事業が大部分を占める
- 主力の派遣事業は、売上高/セグメント利益ともに伸長。セグメント利益率も前年同期比で概ね同水準で推移

3Q 実績

▼新しいセグメントへの組替後の数値

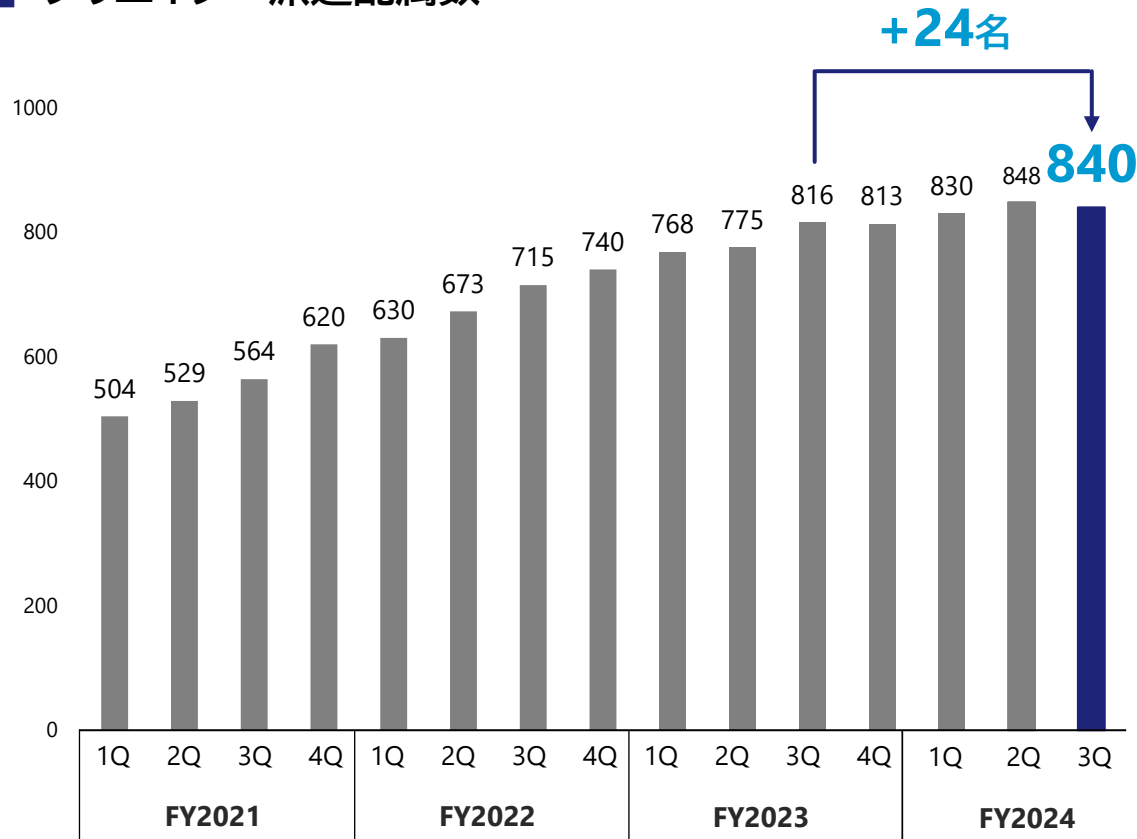
(百万円)	2023年3月期 (3Q)	2024年3月期 (3Q)	前年同期比	業績予想 (2023/8/10公表)	進捗率
売上高 *	3,792	4,166	+9.8%	5,714	72.9%
人材派遣	3,631	4,017	+10.6%	-	-
受託・その他	161	149	▲7.5%	-	-
売上総利益	1,309	1,448	+10.6%	-	-
売上総利益率	34.5%	34.8%	+0.3pt	-	-
セグメント利益	1,014	1,074	+5.8%	-	-
セグメント利益率	26.8%	25.8%	▲1.0pt	-	-

* 連結相殺消去後の数値を記載

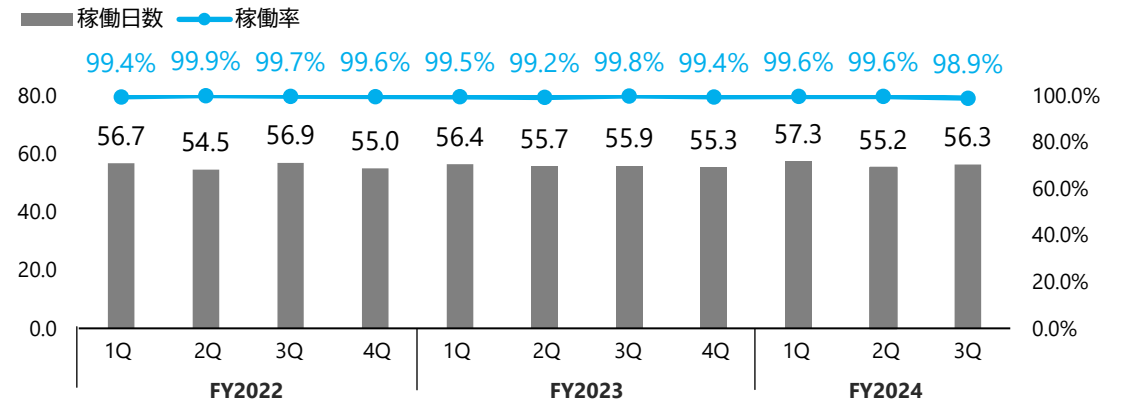
[HRソリューション事業_派遣]主要なKPIの推移

- スtock型収益モデルの基礎となるクリエイター派遣配属数は、前年同四半期から+24名増となるも過去からの成長に比べ緩やかに留まる
- 家庭用ゲーム市場の人材ニーズは堅調に推移する一方、モバイルゲーム市場の鈍化が要因。稼働率は引き続き高水準を維持

■ クリエイター派遣配属数

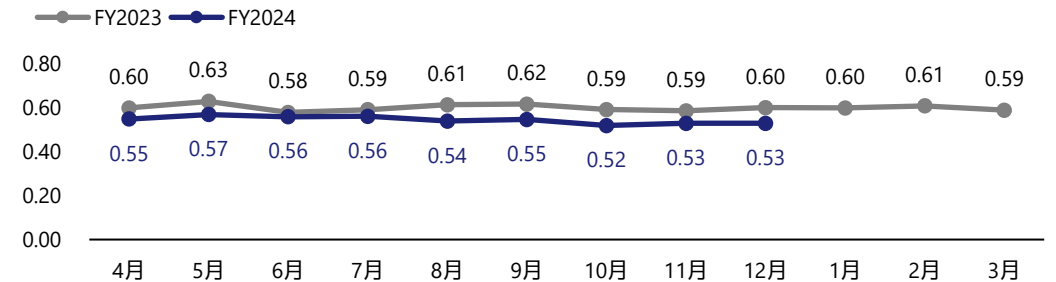


■ 稼働日数*1 / 稼働率*2



*1 月次での各人の勤務日数合計から月末時点での稼働人員数で除した日数の四半期合計
 *2 月末時点での派遣稼働数合計に対して、月末時点での稼働可能人員数合計で除した割合

■ 日次平均残業時間*の推移



* 月間の平均累計残業時間を平均実稼働日数で除算した日次平均

[HRソリューション事業_紹介 | 3Q] 2024年3月期 決算ハイライト

- 当セグメントは、旧インターワークスの人材紹介事業が大部分を占めるため、旧コンフィデンスのみの前年同期比較で大幅な増収、増益に
- 業界横断でミドル・ハイクラスを中心とした紹介事業が大幅に強化されたことにより、[収益獲得の幅が拡大](#)

3Q 実績

▼当数値に関して、旧インターワークス分については、8月～12月分の5か月分を計上

	2023年3月期 (3Q)	2024年3月期 (3Q)	前年同期比	業績予想 (2023/8/10公表)	進捗率
売上高 *	31	623	+1856.4%	1,243	50.1%
人材紹介	31	623	+1856.4%	-	-
売上総利益	25	499	+1859.3%	-	-
売上総利益率	80.0%	80.1%	+0.1pt	-	-
セグメント利益	5	184	+3181.3%	-	-
セグメント利益率	17.7%	29.6%	+11.9pt	-	-

旧インターワークスの事業にかかる進捗率については、当期全体8カ月間の内の、5か月分(8月～12月)を経過した進捗率 ▲

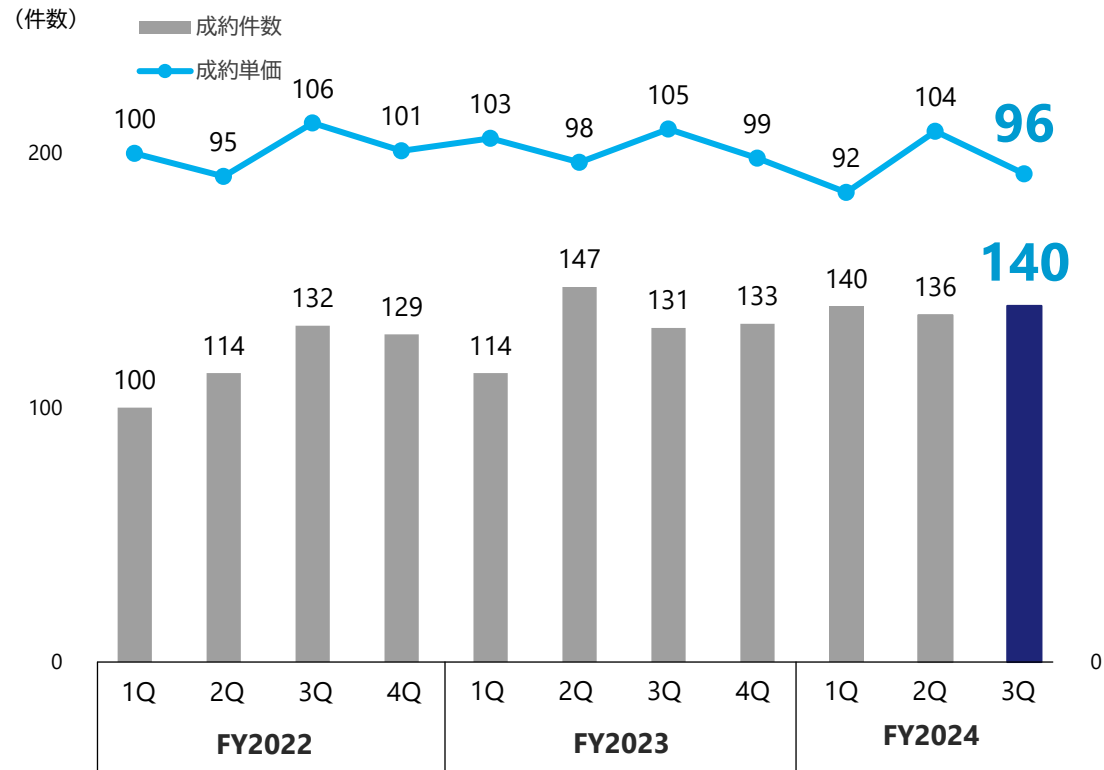
* 連結相殺消去後の数値を記載

[HRソリューション事業_紹介]主要なKPIの推移

- 当第3四半期は、コンサルタント数**平均77名**まで増員し、育成にも注力した結果、成約件数は当1Q、2Qと同水準での推移
- コンサルタントの増加が売上高増に直結する紹介事業において、コンサルタント数増加とともに生産性を重視して進捗予定

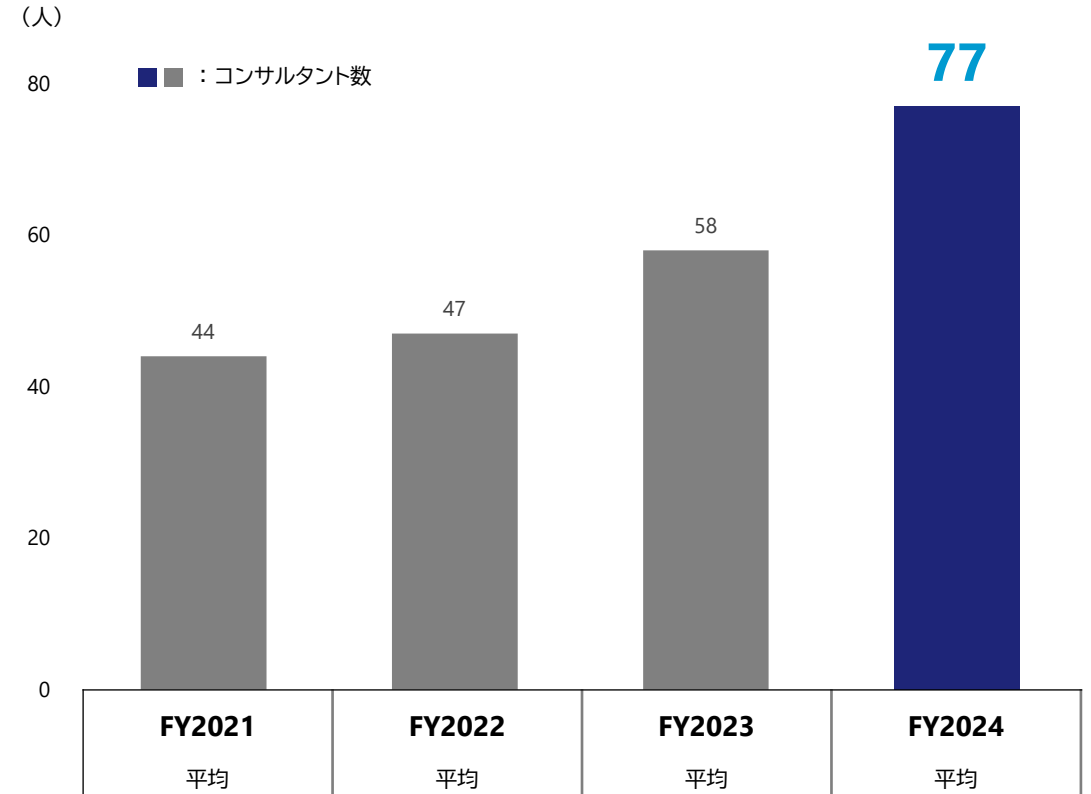
■ 成約件数・成約単価

成約単価：2022年3月期(1Q)を100とした場合の指数



■ コンサルタント数(平均)

*各月末のコンサルタント数の平均値にて算出



[メディア&ソリューション事業 | 3Q] 2024年3月期 決算ハイライト

- 当セグメントは、旧インターワークスのメディア&ソリューション事業が大部分を占めるため、旧コンフィデンスのみの前年同期比で大幅増収、増益
- 求人広告(工場ワークス)について、固定費の削減により損益分岐点を下げ、セグメント利益の安定確保を目指す

3Q 実績

▼当数値に関して、旧インターワークス分については、8月~12月分の5か月分を計上

	2023年3月期 (3Q)	2024年3月期 (3Q)	前年同期比	業績予想 (2023/8/10公表)	進捗率
売上高 *	36	587	+1494.6%	1,041	56.4%
求人広告	-	431	-	-	-
受託・その他	36	156	+324.2%	-	-
売上総利益	29	474	+1523.9%	-	-
売上総利益率	79.3%	80.8%	+1.5pt	-	-
セグメント利益	18	150	+703.2%	-	-
セグメント利益率	50.8%	25.6%	▲25.2pt	-	-

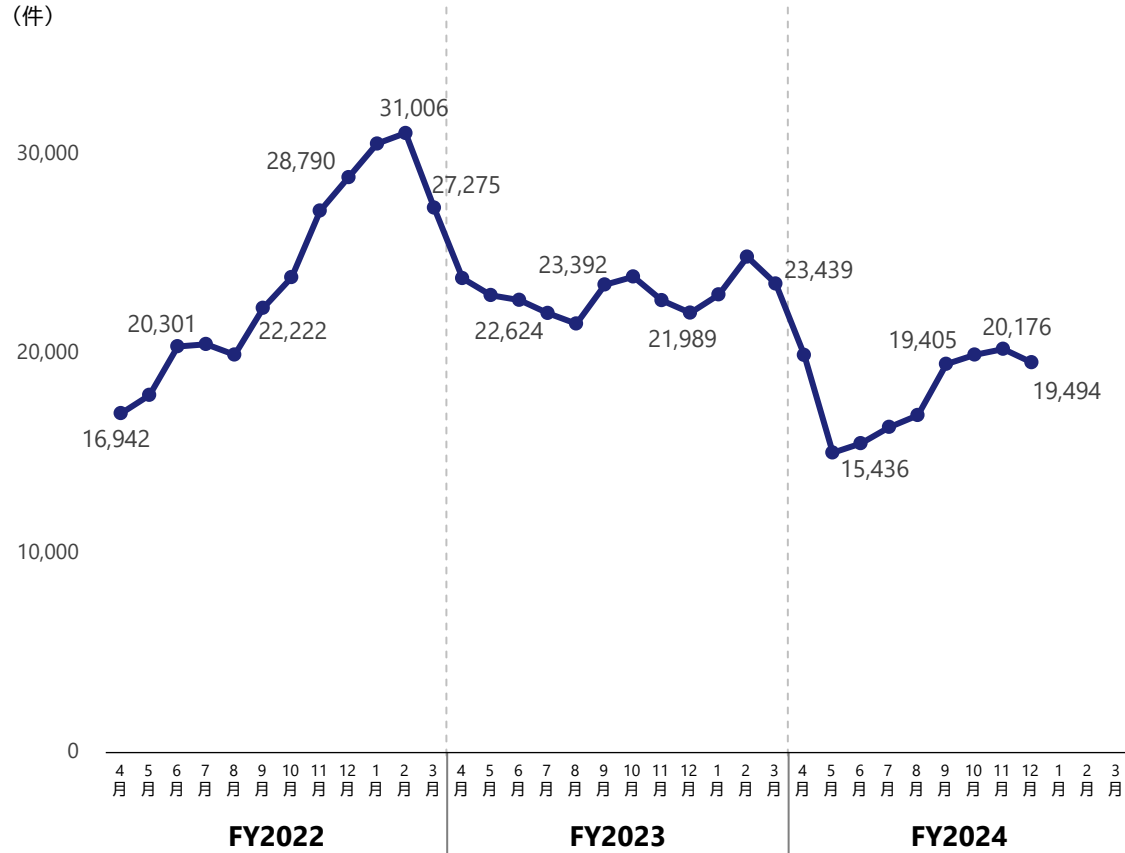
* 連結相殺消去後の数値を記載

旧インターワークスの事業にかかる進捗率については、当期全体8カ月間の内の、5か月分(8月~12月)を経過した進捗率 ▲

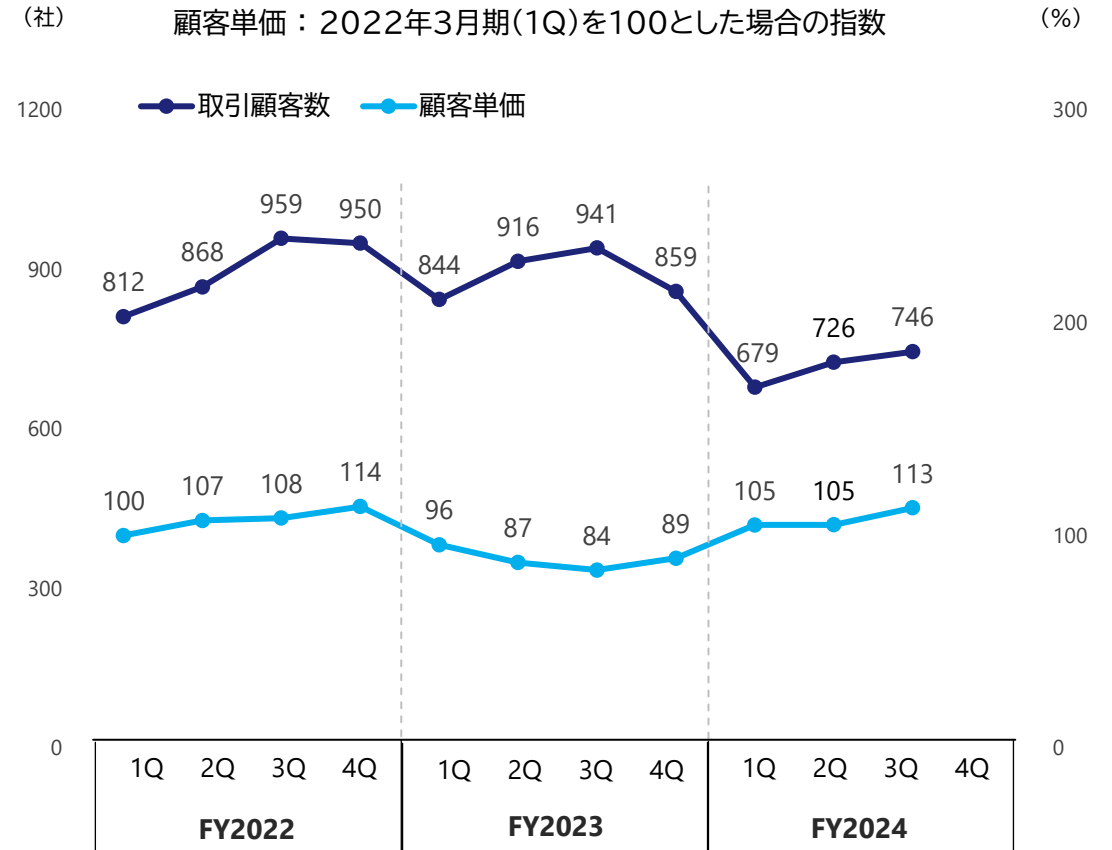
[メディア&ソリューション事業_求人広告]主要なKPIの推移

- 求人掲載件数は、5月以降、回復傾向
- 取引顧客数も前2Q比で20件の増加。顧客単価は、前年と比較して上昇トレンドにて推移

工場ワークス 求人掲載数



工場ワークス 取引顧客数・顧客単価



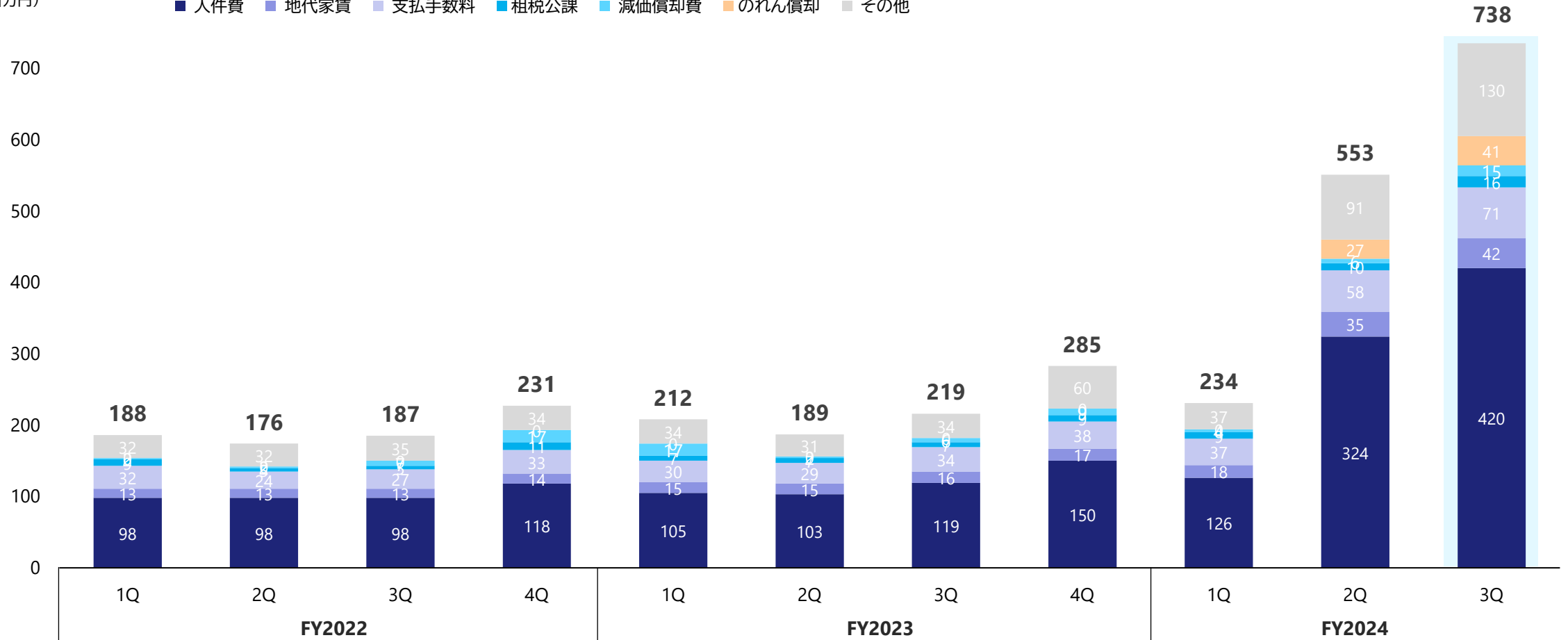
[全社連結 | 四半期]販売費及び一般管理費の推移

- インターワークスとの合併により、販売費及び一般管理費の規模および構成が大幅に変化
- 引き続きコストコントロールを徹底し、堅実に営業利益を創出する組織体制を合併後も変わらず継続

■ 四半期推移

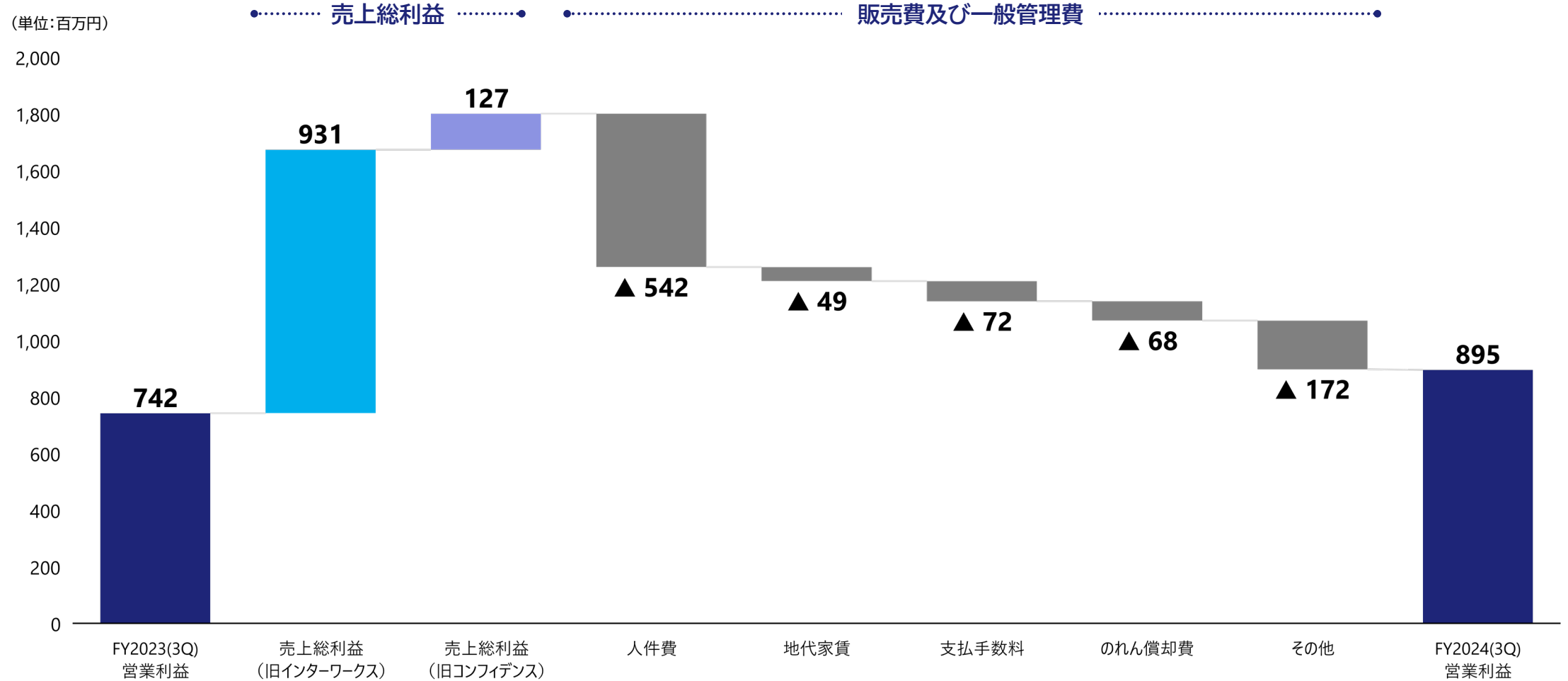
(単位:百万円)

■ 人件費 ■ 地代家賃 ■ 支払手数料 ■ 租税公課 ■ 減価償却費 ■ のれん償却 ■ その他



[全社連結] 営業利益の増減要因分析(対前年同期比)

- 合併により、インターワークス分の売上総利益／費用が追加。また、当第2四半期よりのれん償却費が発生するが、インターワークスの紹介、メディア&ソリューションの粗利貢献、合併によるバックオフィス費用の最適化等でコスト増分をこなし、増益を確保。4Q以降も同様の傾向が続く見込み

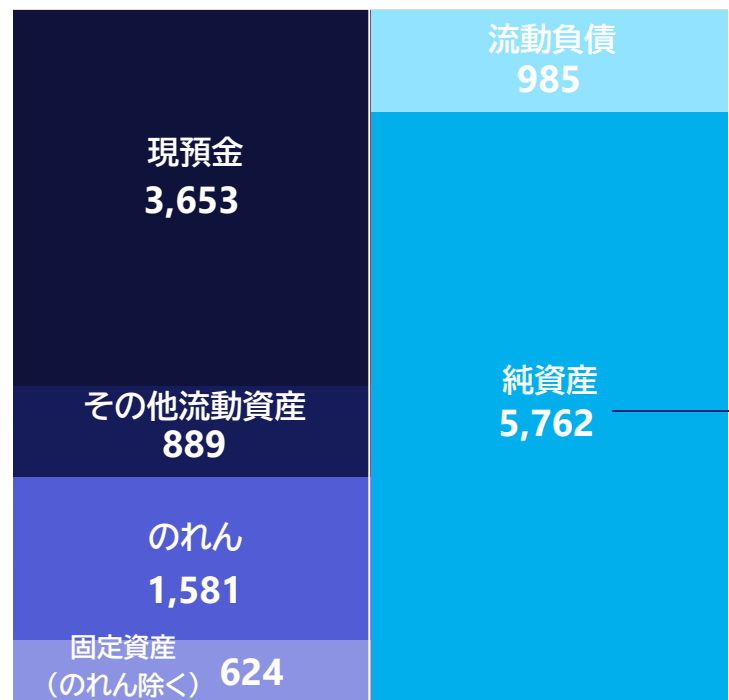


[全社連結]貸借対照表・キャッシュフロー計算書

- 合併により、前期末比、現金及び預金が+16.0億円、純資産が+37.3億円、総資産が+38.5億円増加(のれん:+15.8億円)
- ネットキャッシュは 36.5億円、自己資本比率は 85.1%で、引き続き、高い財務安定性を確保

FY2024 3Q末 B/S

(百万円)



資本金 509百万円
 資本剰余金 3,882百万円
 利益剰余金 1,357百万円
 自己株式 △80百万円
 新株予約権 21百万円

FY2024 3Q C/F

(百万円)

2023年3月末現預金残高	2,047
営業CF	+629
投資CF	▲80
財務CF *	▲322
合併に伴う現預金増加額	+1,378
現預金増減額	+1,605
2023年12月末現預金残高	3,653

* 配当金の支払額▲294百万円、借入金返済▲22百万円、その他▲5百万円

財務指標

ネットキャッシュ	36.5億円
自己資本比率	85.1%
ROE(参考) *	18.7%

* ROEの計算基礎となる当期純利益は、2024年3月期通期公表値を基に概算

04

株主還元

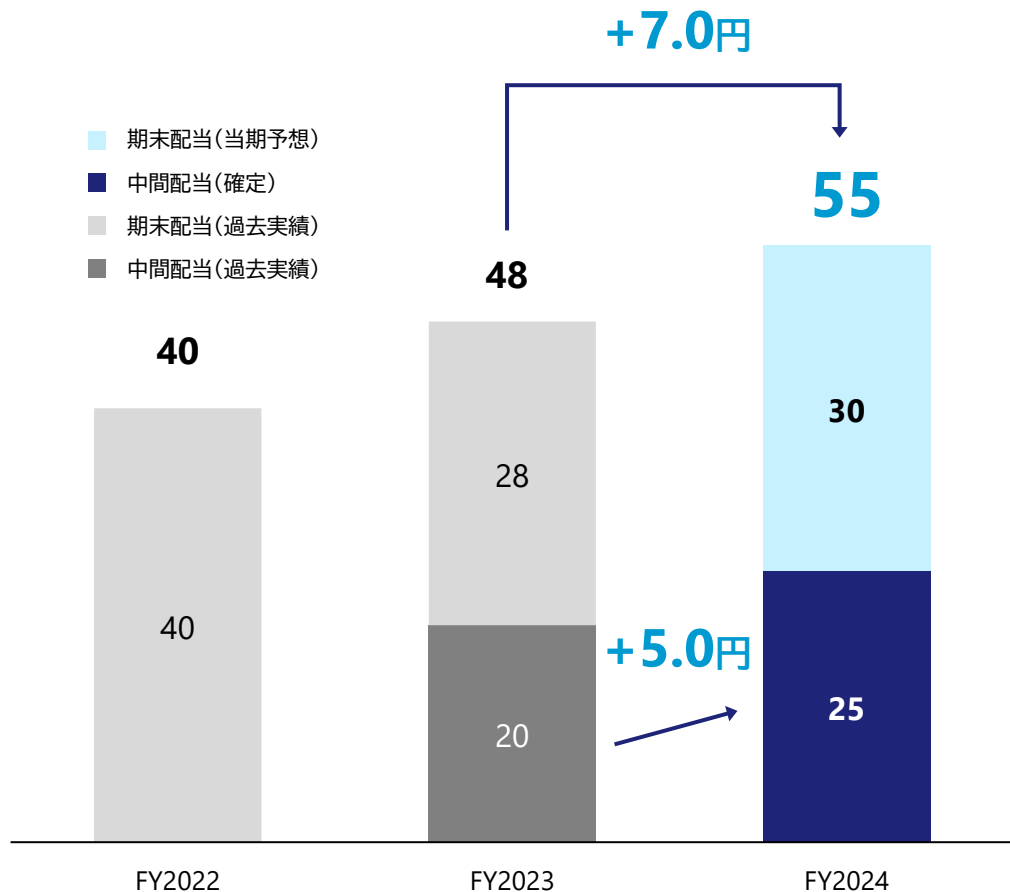
Dividend Distribution



2024年3月期 配当予想サマリ

- 2024年3月期通期の配当は、**前期比 +7円増配**の**55円**を予想。継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とし、上場以降、**連続増配**
- 現在の通期予想を前提とした、配当関係の各指標は以下を参照

1株当たり配当単価の推移



配当関係指標サマリ

配当性向	46.4% (予想)	前年実績 35.6%
DOE	8.6% (予想)	前年実績 12.1%
配当利回り	3.5% (予想/概算:12月末株価)	2023/3末時点 2.6%

* 配当利回りの計算基礎となるEPSは、2024年3月期通期公表値を基に概算

05

成長戦略の進捗／事業トピック

Progress of Growth Strategies／Business Topics

成長戦略の進捗／事業トピック

事業トピック Summary [2024年3月期]



フリーランスマッチング
専門の連結子会社
「コンフィデンス・プロ」を設立

2023/4/3



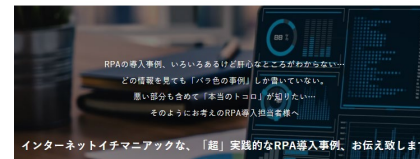
Indigames(オフショア活用
のゲーム開発・3DCG受託等)
への出資を実行

2023/9/7



グリーアドバタイジングと共同で
「ゲームDXフォーラム」
を開催

2023/10/24



実践的RPA情報サイト
「RPA Tips」
を公開

2024/1/9

2023/8/1

統合新会社
「株式会社コンフィデンス・
インターワークス」として始動



2023/10/17

Precious Analyticsと
ゲームプランナー育成講座
を共同開発



2023/11/29

ペネトレーターと
RPA人材の育成サービス開発
協業開始

Penetrator Inc.

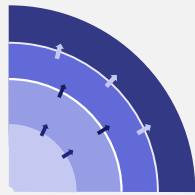
2024/1/19

Web3.0×HR Techを
手掛けるプロタゴニストを
子会社化

PROTAGONIST

成長戦略 | マatchingソリューションの拡大 情報サイトRPA Tipsを公開。

RPA人材育成サービスを通じてDX業界における人材サービスの拡大



マatchingソリューションの拡大
新領域への展開

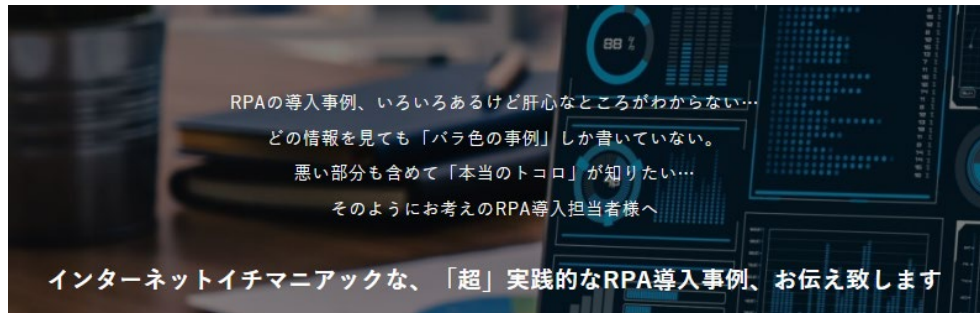
人材事業

メディア

DX業界

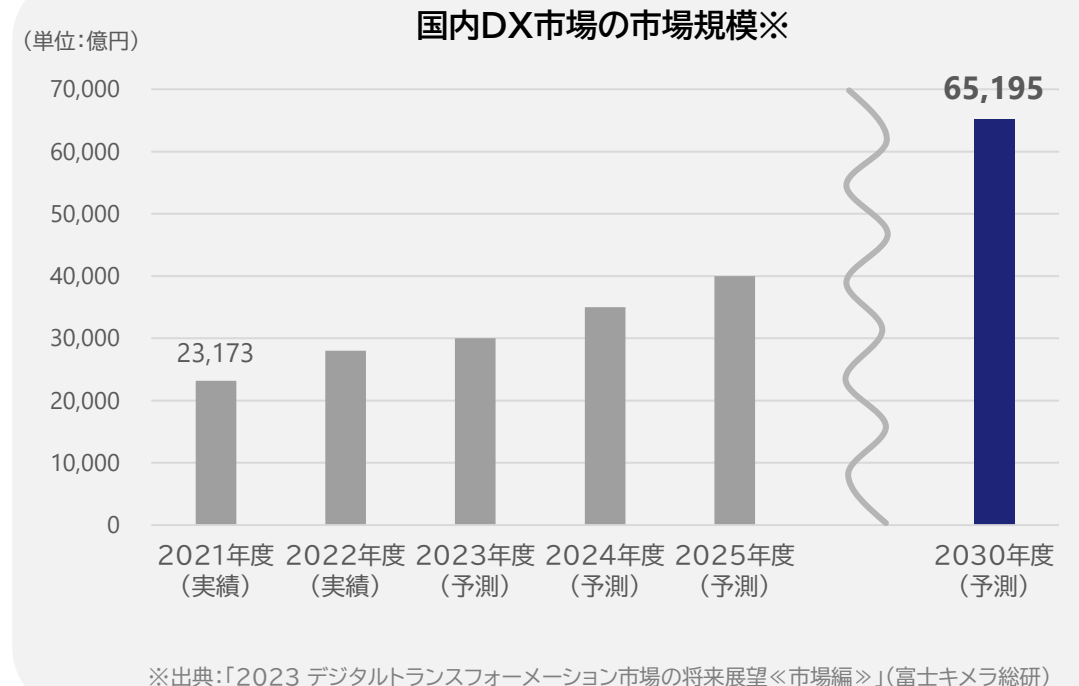
既存メディア運営ノウハウを活用し、 情報発信を通じた業界深耕・集客の領域を拡大

- ✓ 現役RPAエンジニアが記事を執筆
- ✓ RPA導入検討企業からの相談にも応じる



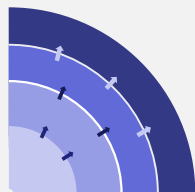
市場規模

国内DX市場は、2030年度に6.5兆円に拡大
企業のRPA導入率が年々増加し、人材需要も高まる見通し



Web3.0×HR Techを手掛けるプロタゴニストを子会社化。

ゲーム業界との親和性の高いWeb3.0領域における人材サービスの拡大へ



マッチングソリューションの拡大

新領域への展開

HR Tech

次世代技術

Web3.0領域

株式会社プロタゴニスト 概要

Web3.0領域の人材ニーズを満たすべく、ビジネスを展開

Desume
Concierge

Web3.0の専門家人材紹介プラットフォーム

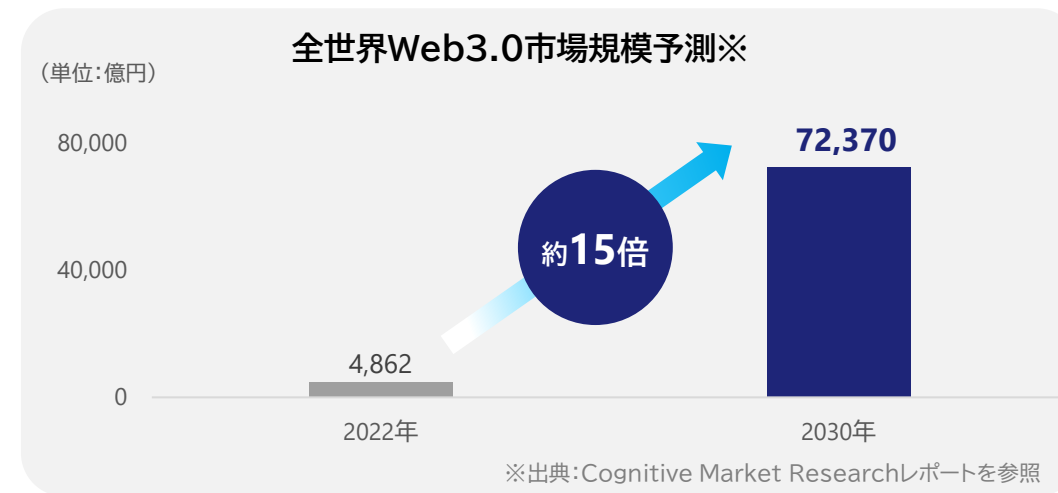
Plus Web3

Web3.0の転職・キャリア支援サービス



市場規模

Web3.0の市場規模は、2030年に7.3兆円に拡大



子会社化の意図・シナジー

- ✓ ゲーム業界とWeb3.0業界との親和性の高さ
- ✓ 両社の顧客網・人材データベースの掛け合わせ
- ✓ 紹介事業のノウハウ提供

Appendix.

The background features several sets of thin, parallel purple lines that curve and flow across the page, creating a sense of movement and depth. The lines are most prominent in the lower right and upper right corners, with some lines extending towards the center.

【2023年8月1日付】株式会社インターワークスとの合併について

- 両社の株主総会での承認議決を経て、2023年8月1日より、株式会社コンフィデンス・インターワークス(証券コード:7374)として始動
- 当合併により、のれんが約16.4億円発生しており、当期におけるのれん償却負担額は約1.1億円(8か月分)、来期以降は約1.6億円のPL計上予定

2023年8月1日～

新会社



Confidence Interworks

株式会社コンフィデンス・インターワークス

吸収合併存続会社



合併比率

1 : 0.205



吸収合併

吸収合併消滅会社



成長戦略 | 将来の成長指標: 定量目標

- コンフィデンス単独でも上場時から順調に成長を続けていたことに加え、合併により売上高の成長ペースが加速
- 全事業で、セグメント選定の上、対象領域に特化したカテゴリNo.1の集合体を目指す

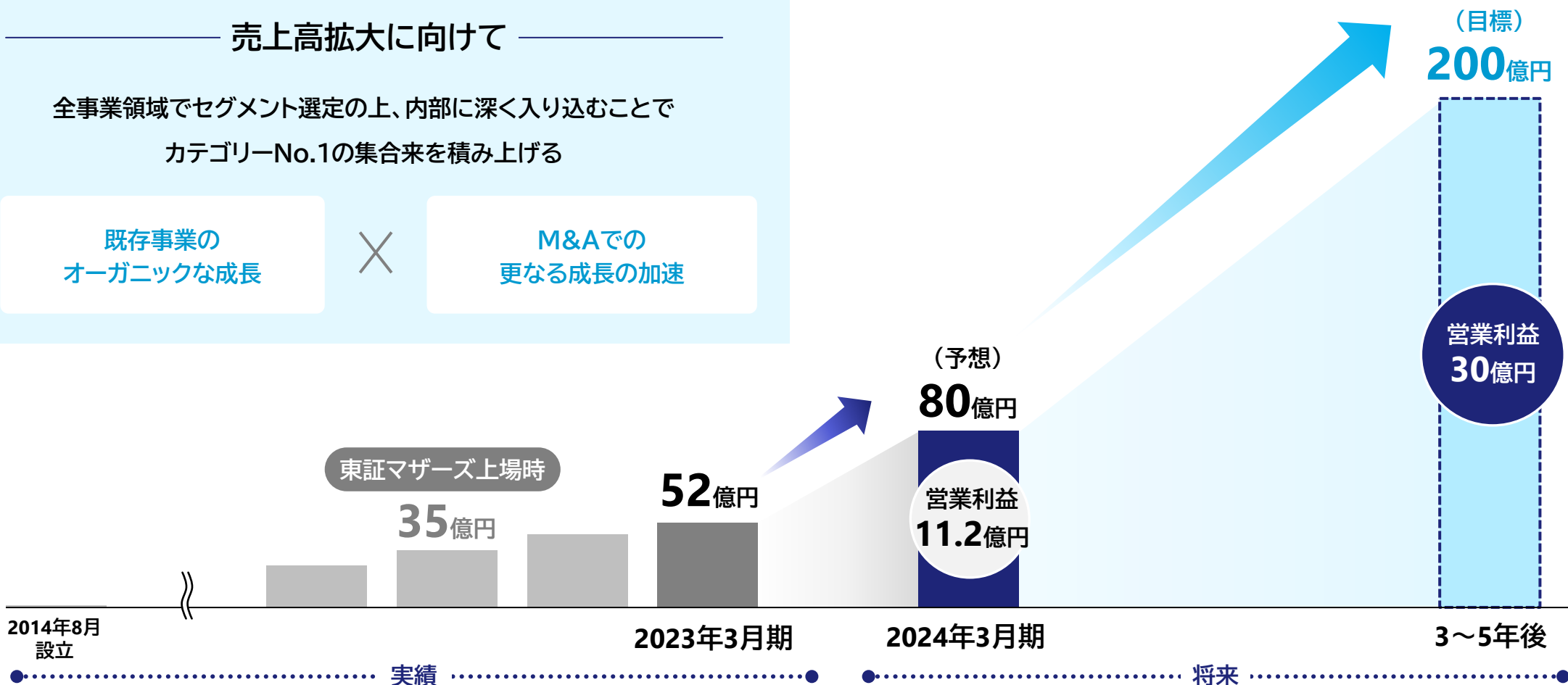
売上高拡大に向けて

全事業領域でセグメント選定の上、内部に深く入り込むことで
カテゴリNo.1の集合体を積み上げる

既存事業の
オーガニックな成長



M&Aでの
更なる成長の加速



*2019年3月期から2023年3月期の売上高5年CAGR(実績): 26.9%

[全社連結]2024年3月期 業績予想 | 配当予想サマリ

- 2024年3月期の株式会社コンフィデンス・インターワークスとしての業績予想および各種指標は以下の通り
- 合併に伴い一時的に発生する統合関連費用やのれん償却費等の影響を見込んで試算

2024年3月期 通期業績予想

* 株式会社インターワークスを2023年8月1日付で合併したことにより、通期業績予想において、旧インターワークス社のPL数値は8か月分で試算

		2022年3月期 (旧コンフィデンス)	2023年3月期 (旧コンフィデンス)	2024年3月期 (コンフィデンス・インターワークス)	前期比 (対 旧コンフィデンス)
売上高	(百万円)	4,425	5,197	8,000	+53.9%
売上総利益	(百万円)	1,528	1,841	3,718	+102.0%
売上総利益率	(%)	34.5%	35.4%	46.5%	+11.1pts
営業利益	(百万円)	745	933	1,120	+20.0%
営業利益率	(%)	16.8%	18.0%	14.0%	▲4.0pts
経常利益	(百万円)	737	927	1,065	+14.8%
当期純利益	(百万円)	530	617	725	+17.3%
1株当たり当期純利益	(円)	118.19	134.80	118.58	-
1株当たり配当金	(円)	40.0	48.0	55.0	+14.6%

業績予想策定の前提

2024年3月期業績予想・配当予想に関する目標指標

目標指標



2024年3月期:業績予想策定の前提

業績予想策定の前提

- 2023年8月1日が合併の効力発生日のため、旧インターワークスのBSは、2023年7月末残高、PLは、23年8月~24年3月までの8か月分の数値を取り込む
- 統合により一時的に発生する費用、およびのれん償却費を織り込む



- コンフィデンスへ承継するBS残高確定
- のれん総額の算定

のれんの会計処理・考え方

- のれんの算定に関する会計処理(含む無形資産の識別)については、第2四半期において会計監査人との協議の上、最終決定を行う予定
- なお、のれん償却費について、一定の前提を置いた上で当期影響額を試算の上で業績予想の中に織り込む



**Confidence
Interworks**

プロフェッショナルの力と可能性を信じ、共に未来を創り出す

本資料のお問い合わせ先: FP&A本部 IR担当 (ir@ciw.jp)

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。